

令和3年度 事業計画書

社会福祉法人 健善富会

真生保育園

1 ・ 保育の概要

① 定員

| | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 定員 | 9 | 15 | 16 | 16 | 17 | 17 | 90 |
| 4月 | 6 | 18 | 18 | 17 | 18 | 16 | 93 |
| 3月予測 | 9 | 18 | 18 | 18 | 18 | 16 | 97 |

② 職員数

| 施設長 | 主任保育士 | 保育士 | 栄養士 | 調理員 | 事務 | 看護師 | 保育補助 | 延長保育 | 用務 |
|-----|-------|-----|-----|-----|----|-----|------|------|----|
| 1 | 1 | 16 | 1 | 5 | 1 | 1 | 2 | 4 | 1 |

2 ・

保育理念 すべての子どもたちとその家族の幸福を願い、将来、子ども達が世の為、他人の為に働ける人にそれぞれの分野において、社会貢献できる人になれるよう支援する。

保育方針 一人ひとりを大切に、肌理細やかに丁寧に保育をする。

保育目標 子どもの社会性、主体性、意欲を培う。

3 ・ 保育時間

| | 月～金 | 延長保育 | 土 |
|-------|--------|---------|--------|
| 通常保育 | 7時～18時 | 18時～20時 | 7時～18時 |
| 短時間保育 | 9時～17時 | | 9時～17時 |

4 ・ 特別保育事業、健康管理

| | | | |
|---------|-------------------------------------|----------|-----------|
| 特別保育事業 | *延長保育事業 | *障害児保育事業 | *産休明け保育事業 |
| 児童の健康管理 | *内科検診(年2回) *歯科検診・尿検査(年1回) *身体測定(毎月) | | |
| 職員の健康管理 | *細菌検査(0歳、調理職員月4回・他月2回) *健康診断(年1回) | | |

5 ・ 給食、食育

- ① 旬の食材を取り入れ、季節感や行事を大切にし食を通して日本の伝統文化を伝えていけるよう献立に盛り込んでいる。
- ② 野菜を育てたり、野菜の皮むき等のお手伝い、調理を経験し、子どもの食に対する意欲を高め、おいしく楽しく食べられるようにする。
- ③ 献立表の発行を行う。行事食、離乳食、アレルギー対応。

6 ・ 防災計画、安全対策

- *防災計画の実施
- *避難訓練の実施(月1回)、消防署による消火訓練(年1回)
- *緊急連絡先の登録
- *非常用飲料水、食物の確保
- *緊急通報装置の設置

7 ・ 年間行事予定 、 定例行事予定

| 月 | 保育行事 | 保健 | 定例行事 |
|-----|-------------------------|--------------------|---|
| 4月 | | | 絵画指導 体育指導 クラス会議 職員会議 給食会議 絵本会議 リーダー会議 避難訓練 身体測定 園内研修 WEB研修 その他イベント |
| 5月 | | 内科検診 | |
| 6月 | 社会見学 | 歯科検診 | |
| 7月 | 年長 お楽しみ会 ・ 保育体験 | | |
| 8月 | 水遊び | | |
| 9月 | 秋祭り | ゴキブリ駆除、尿検査 | |
| 10月 | FSD、芋ほり | 内科検診 | |
| 11月 | 保育参観、個人面談 | | |
| 12月 | 子ども劇場、クリスマス会 | | |
| 1月 | 保育参観、観劇会 | | |
| 2月 | 餅つき大会 | | |
| 3月 | お別れ会、卒園式 入所前説明会、移行準備 | ゴキブリ駆除 新入園児健康指導 | |

8 ・ 年間研修予定

| | | | |
|----|--------------------------------------|--------------------|-------------|
| 園内 | * わらべうた研修 (9月：高橋静代先生・11月：知念尚美先生 ※予定) | | |
| | * 姉妹園 公開保育 | * 絵本、積み木、環境構成、遊び 他 | |
| 外部 | * 施設長、主任、保育士、栄養士、看護師、新人研修 * 公開保育 | | |
| 部 | * キャリアアップ研修 | * その他 WEB 研修 | * 幼保小連携会議 他 |

<令和3年度 取り組み>

* 「新しい様式」に沿った取り組み

コロナウイルス感染症の影響で、日常の生活が大きく変化したが、少しずつ慣れ始め、その中で何が出来るか求められている。日常の保育や行事など、中止という形ではなく、形を変え継続して行えるよう工夫していきたい。また、実習生の受け入れや、見学者の受け入れなど、中止していた事を再開するため、感染防止に努めながらも、積極的に受け入れ、園の向上に繋げていきたい。

* 保育の質の向上、意識改革

昨年度は保育を維持することに重点を置いたので、今年度はしっかりと向上していけるよう努めていきたい。研修の機会も減ってしまったがWEB研修等に積極的に参加し、意識を高めてくと共に、職員同士の話し合いの場を意識的に作り、意見やアイデアが出せるような環境を作っていきたい。年齢や経験関係なく、全員で考える保育を目指せるように意識改革を行っていきたい。

* 子供の持つ力を信じる

昨年度はコロナウイルス感染症の影響もあるのか、過度の心配や神経を使う場面も見られた。子どもを守るためのルールや見守りが本当に子どもの求めている事なのか考える必要がある。考え方や意識を変え、子どもを信じる保育をしていきたい。また子どもが自ら選択・決定出来るよう機会を増やし、自主性・主体性とは何かをもう一度考え直す一年にしていきたい。